

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2025年2月1日(土)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

生き物を表現する②

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- 子ども達にお楽しみ会で何をしたいのか問いかけると物づくりをしたいとリクエストがあり、お客さんに披露できる作品としてファッションショーを提案し、衣装を作ることになった。

2. 活動スケジュール

- 自分自身で作った衣装を着て、数名ずつ舞台上がり何の生き物をイメージして作ったのか発表をする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- 作成した衣装
- 作成した小物
- 作成した大道具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ファッションショーに向けて作成した衣装や小物を着けて、数名ずつ舞台上がる。
- しっぽや背面を飾り付けている子もいるので、全体が見える様に一周回りポーズを取る。
- なんの生き物をイメージして作ったのか一人ずつ発表していく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> • 衣装を着ておたのしみ会の舞台上で発表。『どんな生き物の衣装をるくりましたか』という問いかけに、「しまうまでです。これはともだちのネズミです」「いるかです」等、自分が何をイメージして作ったのかを伝えていました。衣装だけでなくその生き物の生活している場所が分かるように背景を作っている子やネズミを披露する子もいた。 • 一人一人コンセプトがあり、その中でもクラゲを作った子は手と頭を出さないで特徴を表現していました。 	  

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

お楽しみ会当日を迎え、子ども達は緊張している様子だったが、自分自身で考え沢山工夫を凝らして作った衣装を着ると、嬉しそうに自信に満ち溢れた表情をしていた。子ども達同士で決めたグループごとに舞台上上がったことで、緊張感はあるものの楽しそうに披露する姿が見られた。また、控室の段階から音楽をかけていたこともあり、よりリラックスできていたように感じる。今回自分のイメージを絵に描き起こし、それを形にしていくということをやってみて、苦戦しながらも自由にイメージを膨らませ表現している姿が見られたので、違った題材を使いまた取り組んでいけたらと思う。